

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295800128		
法人名	株式会社だんらん		
事業所名	スローライフ汐見台		
所在地	静岡県牧之原市汐見台14-1		
自己評価作成日	平成31年1月5日	評価結果市町村受理日	平成31年3月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=2295800128-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成31年1月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その方の個性を尊重し家庭的で温かい、いつでも地域の方やご家族が遠慮なく、面会に来られる施設を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

小規模多機能を併設し、平成29年4月に新たに開所した事業所です。遠州灘をみおろす高台にあり、その名の通りの場所に立地しています。スタートしてから一年半ほどの間に管理者が2度交代していて、家族からは心配の声も挙がっていますが、グループホームの職員は何かあれば立ち話的にミーティングが始まる文化が育っており、職員間のコミュニケーションは円滑です。それとともに利用者の言動も職員への信頼が滲んでいて、3名の仲良しマダムが小さなソファに肩を寄せ合って雑談する様子に毎日の安寧が覗えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は地域住民が多く理念の実践は行われている	玄関に理念の掲示はありますが、唱和したり話し合う機会をつくることができていません。基本方針や月間目標もないため、職員が目指すべきものを急ぎ備える必要があります。	現在の職員が目標をもって業務に取り組むことが定着することを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントには進んで参加をしている。(防災訓練、秋の祭典等)	『いーら』へ書道展見学、新野のかかし祭り、防災訓練等地域イベントへ積極的に参加するとともに、相良小学校児童の訪問も幾度となくあって、子どもの華やいだ声が響く日もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	オープン当初は、オレンジカフェを施設長を中心に行っていたが、今現在は施設長が移動になり、オレンジカフェも会場が移動となったが、行われている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進委員会を当施設内にて行い利用者の現況など取り組みなどを報告し、助言なども頂いている。又そこで頂いた意見等は議事録としてまとめ、施設の向上に努めている	運営推進会議には毎回市役所の出席を得られています。ほかには波津副区長、地域包括支援センター、民生委員をメンバーとし、併設の小規模多機能事業所と同日に時間をずらして隔月開催が叶っています。	現在の議事録は小規模多機能事業所と同じくしていますので、双方独立した記録を残すことを期待します(事業所が別のため)。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	庁舎窓口担当者や、包括支援センターとも連絡を取り合い困難事例等は相談し協力関係は築けている	昨年10月の実施指導では、身体拘束等の適正化と処遇改善加算の算定要件を満たすための書類整備が足りないことなど実務的な指摘を受け、現在是正中です。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当施設は身体拘束0宣言をしている施設であり、利用者様の尊厳に勤めている。又どうしても拘束しなければいけない場合には、ご家族様に理由の説明を行い許可を頂いてから行っている。	現在身体拘束が必要とされる症状をもつ利用者が2名おり、一時性・非代替性・切迫性に係る書面を通じて家族の同意も得て、経過観察を記録と共に続けています。本年法改正の委員会開催は中断、記録共有も不確かな状況なものの、3月で完遂の予定です。	報連相を見直し、取組むべきこと、遵守することの情報が行き渡ることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法についての学びの機会を中々持つ事が難しい状況ではあるが、虐待が見過ごされる事が無いように身体や精神状態には気をつけて見ている。又ご家族にも声をかけ不安な事などは管理者に報告している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	出席できる研修には進んで参加し報告している。又全職員に伝えられるように会議の時間を作り、話し合い活用できる様にしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、重要事項説明書に基付き説明を行っている。又後で疑問がわいてきた場合にもご家族、利用者様には、その場で説明を行い相互に理解できる様に勤めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様からの意見要望等は直接話ができる様に環境作りを行っている。又管理者に直接言えない様な事などは職員に話ができる様に関係作りを行っている	ほとんど顔を見せない家族もいて、少ない場合は月1回程度と面会は多くはありませんが、日常の様子を撮影した写真入りの便りを毎月届けることで、情報共有を図っています。	面会は土日が大半です。家族アンケートにも話し合う機会が欲しいと挙がっていますので、月何日かは管理者、代表者の土日出勤があることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を設け職員からの意見や提案を聞いている。又内容によっては至急対処している。	「ゆでであったのでやわらかい」「辛い」と正直な意見が検食簿にも踊っていて、20代～70代の幅広世代にしては意見に忌憚がなく、ミーティングの場に限らず、普段からお互い意見を言い合っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者や職員の勤務状況を把握し給与水準、労働時間などの職場環境作りに努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は法人内外の研修の機会の確保には努力している。又ケアの実際と力量に関しては職員リーダーや管理者から話を聞き把握できるように努力している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は同法人内の職員間の交流は機会を設けている。又管理者などは市町のケアマネ会に所属し相互訪問等を通じて交流を図っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の段階ではいつも以上に目配り気配りに気をつけ利用者様との信頼関係が構築できる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階ではご家族も不安を抱えている場合が多いのでどんな事でも耳を傾け信頼関係を築ける様に努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当者会議等を通じ支援内容を見極め日々利用者様の様子を見ながら変更しなければいけない事等は管理者、ケアマネと相談をし、ご家族の理解を頂きながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様に対し、一方的な介護をせず、共に関係を築ける様に努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族、利用者様との絆を大切に職員共々支えて行ける様に努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の地域の友人馴染みの場所等関係が継続できる様に努力している。	以前からやっていたお灸を「気が落ち着くよ～」と続けている人が1名います。全体としては、通院介助や身の廻りの必需品補給について、家族から職員担当に切り替えたため、馴染みの関係継続が減っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人一人の性格や個性を把握し利用者様が孤立しない様に声掛けなどを行い一人ひとりを支えられるように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も利用者様、ご家族から声が掛かり、相談事等があれば、その内容を管理者やケアマネに報告し支援できる様に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の思い、希望等はその意向を把握し出来る様に努めている。又困難な場合には管理者、ケアマネに相談し全員で検討している。	普段から利用者自身の要求がなく、誕生日に「何食べたい?」と尋ねても「いつもうまいもん食べてるからいい」といった消極的な返答ばかりです。それでも、入浴介助では、何気ない一言から想いが拾えることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェースシート、担当者会議などで今までのサービス利用の把握を行い、又日々の利用者様との関わりの中で今までの暮らし方、馴染みの場所等聞きだせるように信頼関係を築ける様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康管理は毎朝のバイタルチェックで把握し、一日の過ごし方等利用者様の希望を伺い、利用者様の思いに添える様に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の課題ニーズなど関係者で話し合い利用者様の現状に即した計画書の作成を行っている。	24時間シートを導入することで「チームでつくる～」を進めています。家族アンケートでは「プランの説明があり、一緒に話し合っている」に「はい」が集まっており、実際サービス担当者会議も必要に応じて実施しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記載し職員間で情報を共有できる様に申し送りを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれてくるニーズに対し柔軟に支援できる様に努力している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握は出来ている様に思う。又利用者様が安全豊かで楽しい暮らしが出来る様に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員が定期受診の付き添いを行っている。又日々の様子を掛かりつけ医に報告しながら適切に医療が受けられるように支援している。	9名全員が従来のかかりつけ医を継続できしており、日頃から状態を把握する職員が通院介助をおこなっています。結果は受診記録に記載し、有事につなげています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	今年9月に看護師が退職しそれ以後不在の状態が続いている為、職員は初期症状を見逃さないように目配りに気をつけ、早めの受診を心がけている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者兼務のケアマネが入退院時、数回の面会や病院相談員と密に連絡を取り、身体状況を把握できる様に努めている、又退院時には看護サマリーを依頼している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期看取りができる設備がないので、重度化した場合には早めにご家族に連絡し、地域の総合病院に搬送を行っている。その際にも医療関係者に初期症状の説明を行える職員が同行している。	医療との連携体制が整っていないため、看取りは現実難しい状況にあり、実績も今のところありません。たん吸引が必要な利用者は訪問看護事業所を実費利用していますが、進行によっては移設となることを家族は理解しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変時、事故発生時には医療機関受診対応を行っている。又定期的な訓練は行えるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時対応できる様に努めている。又地域での防災訓練に参加し協力体制を築いて行ける様に努力している。	県の防災センターで開催された、防災グッズや訓練方法についての研修会にはリーダーが参加していますが、所内の訓練は未だ1回に留まっています。備蓄についても現状は僅かです。	消防署へ防災計画を提出し、実施後は報告書を提出する手はずを浸透させ、年2回の法定訓練が実施されていくことを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳が守られるように一人ひとりの人格を重んじ又人生経験者である利用者様に教えを請う様にその方に沿いながら言葉掛けを行える様に努力している。	「～ちゃん」は禁止です。食事中は椅子に座って穏やかに見守る職員の様子や、「○○さ～ん、行きましょうか」と優しく呼びかける姿を訪問の調査者も視認しています。	接遇やプライバシー確保の研修(勉強会)を年間の取組みに位置付け、知識の標準化が進むことを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者様一人ひとりが自分の思いを自由に会話できる様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時に職員優先のペースになりがちな部分も感じられるが、職員間で共有し希望に沿った支援が出来る様に努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性の利用者様は毎日の更衣も楽しみの一つと思い、組み合わせの助言をしたり、男性の利用者様には髭剃りなどの援助をし日々その人らしい暮らしができる様に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年に数回外食に出かけたり、誕生日には、皆で手取りケーキでお祝いしたりと利用者様と介護職員が共に楽しめるように努めている。	専任職員が調理する献立は、野菜や茸がふんだんに使用され、家庭的で温かみのある優しい味付けです。たこ焼き等手作りおやつや、またおいべっ様といった地域行事にはさくらご飯が提供されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は記録し栄養摂取は咀嚼嚥下の状態に合わせて調理を行い利用者様の栄養バランスが崩れない様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前の口腔体操、毎食後の口腔ケアを行い全利用者様の口腔内の状態を把握しご家族様にも報告を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	支援初期の状態では排泄習慣がわからない為2HIに1回で声掛けを行っている。又リハパン、オムツ移行のない様にご家族様にも協力をお願いしなるべく自立排泄ができる様支援を行っている。	排泄チェック表をつけ、声かけなどの支援を以て半数がトイレの出入りが独りでできています。大きく向上した人はいないものの、リズムを掴んで排便の失敗がなくなった例はあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の水分補給時粉末ファイバー投入し、便秘予防をしている。又3日排便がない場合かかりつけ医からの処方薬のマグミットを内服して頂き自己排便を促すように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日を決め2/週の入浴を行っている。又その日の体調などを加味し入浴を行っている。	重度化に伴い併設の小規模多機能にある機械浴を3名が利用しています。週2回の入浴を清潔の目安とし、1対1となれる貴重な場として職員を独占しておしゃべりや、歌をうたい楽しい時間としています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室は決まっており、利用者様の個性が出るように居室内の飾りつけ等も自由にいき利用者様が気持ちよく安心して休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬は分封されている。使用目的など説明書を頂き内容を把握できる様にしている。又症状も掛かりつけ医には受診の際詳しく説明し処方箋をだして頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様ごとの役割を持っていただきお手伝いをお願いしている。又日々の中では介護職員付き添いの元散歩等に出かけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	介護職員が利用者様の希望を把握し外出やドライブに出かけ、利用者様の外出支援を行っている。	散歩はほぼ毎日事業所周辺を廻ることが定着しており、少し足を延ばして小堤山に行くこともあります。誕生日会として外食したり、勝俣川への花見、静岡空港や御前崎灯台等、ミニドライブも兼ねた車での外出も折々に実施しています。	食材の買い出しは事務員がおこなっていますが、そのためか利用者が同行しての外出レクの機会が減っています。少しでも出かけるための工夫ができないものか、再検討を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	キーパーソン様からの希望もあり、事務所にて個別に管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	はご自分で筆記ができる方のみ手紙の交換などを行い支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分の壁には、その月のカレンダー等利用者様に作成して頂き掲示している。又不愉快な空間にならない様に毎日掃除し居心地良く生活できる様に支援している。	ソファーには3人の仲良し組が肩を寄せて並んでいます。訪問時には女性3名でしたが、普段はそこに男性が入ることもあります。朝、日勤職員がトイレとフロア、夜勤者が液剤をつかって消毒もおこない、曜日を決めた部位掃除も加えていて、清潔です。	ピクチャーレールも付いた使い勝手のよさそうな棚が段ボール置き場になっています。早めの改善を期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に於いては利用者様一人一人の座る場所と皆と一緒に楽しく会話ができる場所とを分け自由に過ごせる様に工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の個性が引き立つように居室内の飾りつけ等を利用者様と共に行い利用者様が居心地良く生活できる様に支援している。	高台に建つせいか、陽当たりが抜群に良い居室には一丁目何番地という表札が入っています。居室でラジオを聞いたり、こまごまとした片付けをしたりと、自分の空間を大切に想う姿があります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内には手すりパーの設置がなく安全な歩行に支障が出る為、代表者に設置の依頼をしている。又介護職員は安全に歩行できる様に見守りを重視している。		